

全教職員、学生 各位

新型コロナウイルス感染症感染再拡大の防止に向けた取組の徹底について

全国においては、感染力が非常に強いオミクロン株への置き換わりが進み、新規陽性者が急増し、全国で2万5千人を超える感染者が確認されるなど、加速度的に感染が拡大しております。

県内においても、オミクロン株による市中感染やクラスターの発生などにより感染者が急増していることから、県は、「第6波に入った」という認識を示すとともに、本県への影響が大きい首都圏などの感染状況等を総合的に勘案し、**本県の感染レベルを、現在の「レベル1（維持すべきレベル）」から、「レベル2（警戒を強化すべきレベル）」へ引き上げました。**

レベルの引き上げに伴い、これまでの基本対策についても更なる強化が必要となり、「人流の抑制」、「人と人の接触機会の削減」が感染に対する抑止となるという観点から、県からは、県をまたぐ不要不急の移動を極力控えることなどの対応を要請されております。

本学においては、感染再拡大防止のための基本対策を徹底しているところでありますが、「県における医療の最後の砦の一員である」という高い認識の下、改めて基本的な感染対策を徹底するとともに、下記の取組の徹底をお願いします。

なお、学生については、学部や学年ごとの通知等に従い慎重な行動をお願いします。

記

- 1 一人ひとり基本的な感染対策を徹底すること（外出時や会話時のマスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒の徹底、こまめな換気、ソーシャルディスタンスの確保など。）。
- 2 症状がある場合は登校・出勤を控えること。特に健康ダイアリーにより毎日の健康観察を行うこととし、発熱や上気道炎等の体調変化があった場合は自宅で療養すること。万が一、感染が疑われる場合や接触確認アプリ（略称：COCOA）で接触可能性の通知があった場合は、所属長及び受診・相談センターに連絡するなど適切に対応すること。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
また、感染リスクが高い場所に行った、久しぶりの人と飲食等で一緒に過ごした、旅行や帰省など広域的な移動をした等により感染の不安を感じたら無料検査を受けること（無症状の場合に限る。）。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010a/v-kpackage1.html>
- 3 感染対策の徹底された飲食店を利用するとともに、大人数・長時間の飲食を控え、密閉・密集・密接を避け、大声を出さないなど、飲食における感染リスクに十分に注意すること。

- 4 県をまたぐ不要不急の移動は極力控えること。また、混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出も控えること。旅行や帰省等、移動する時は、自身の体調管理や移動先の感染情報把握などを含め、感染防止対策を図ること。
- 5 職場内の感染防止対策を徹底すること。特に時差出勤・在宅勤務やオンライン会議等を活用し、できる限り職員同士を含め、人との接触する機会の低減を図ること（時差出勤・在宅勤務について附属病院勤務職員は、この限りではない。）。
- 6 イベントは、県の定める要件に従って開催すること。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010a/coronavirus-event.html>

令和4年1月18日

福島県立医科大学新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長 竹之下 誠一